

入選

身近な「水」の価値を知る

黒部市立清明中学校 二年 高島 爽稀

壁の一角にずらつと並ぶ、たくさんの水のペットボトル。その横には蛇口と水飲み場。

私が富山駅の構内を歩いていた時に、その場所がふと目に留まった。近づいてみると、ペットボトルのラベルには「モンドセレクション」という文字。初めて聞くその言葉に、首を傾げた。帰宅し、「モンドセレクション」と検索。「世界的な食品評価機関」ということがわかった。その上、富山市の水道水が二〇一二年から十年連続で、モンドセレクションから賞を受けている。さらに、そのうち七回は最高金賞を受賞しているという情報が出てきた。つまり、駅構内に設置されていた大量のあのペットボトルには、富山市の水道水が入っていたのだ。それほど高く評価されているとは全く知らず、私は驚愕した。身近だと思っていた水が、実は世界的に高い評価を受けている、とても大切なものだと思ふことができた。その後、富山駅へ行った時に、もう一度その場所へ向かい、水飲み場で水を飲んだ。とても美味しかった。この水道水に関わる全ての人達の努力で、この美味しさは成り立っているのだと思ひ、私の水に対する意識が一段階高まった瞬間だった。

この出来事をきっかけに、私は水のことについてさらに調べようと思った。その時ふと、昔抱いたある気持ちを思い出した。それは、水のペットボトルを購入した時のこと。そこには目立つように大きめの文字で「砺波の天然水」とラベルが貼られてあった。砺波は五箇山合掌造り集落で有名な富山県西部に位置する市。大手飲料メーカーが供給している飲料水が、自分の住む富山県で採水されていたとは思ってもおらず、とても衝撃的だった。砺波の水がそれ程にきれいで美味しいということの証だろう。加えて、砺波市には名水百選に選ばれている「瓜裂清水」がある。他にも富山県には、名水百選に選ばれている

場所が七か所もある。そのうちの一つに「黒部川扇状地湧水群」が含まれており、私の住む黒部市から隣町の入善町までの場所にあった。調べてみると自宅からかなり近く、驚いた。自分の住んでいる場所の水が、こんなにきれいで価値のあるものだとは全く知らなかった。そして、自分はこんなにも素敵な場所で生まれ育ってきたのか、という気持ちも生まれた。そして、水に対する意識が、あの時よりもまた一段階高くなった。

私は「水と私の関わりってなんだろう？」と全く見当もつかなかった。しかし、実際に調べてみると、今まで気がついていなかっただけで、自分の身の回りにはとてもきれいで美味しく、価値のある水があった。私はこの作文を通してこのことに気づき、もっと水を大切にしたい、という思いが生まれた。そして私は、水を今よりもっと大切にするために、これから二つの取り組みを実践していこうと思う。一つ目は、「蛇口の水を出しっぱなしにしない」。二つ目は、「川などにポイ捨てをしない」。この二つを実践していく。一見とても簡単で、当たり前のことのように思えるが、この小さなことが水を大切にすることの第一歩になるかもしれないのだ。また、この二つを毎日続けさえすれば、誰だつて自然と水のことを大切にしていることになるはずだ。それが、社会全体で水を大切にするにつながると思うのだ。

私は今回「身近な水の価値」に気づくことができた。そして、限られた水を大切に自分のなりたいと思った。まずは、自分の生活から見直していきたい。